



●今月の巻頭文 奄美大島・加計呂麻島への「旅」

本田哲郎(鶴丸高校八回卒)

50歳代前後から、関東地方にて仕事、現役の頃から、糖尿病を発症して、数回入院治療などを続けたものの、一向に良くなり、このままでは命を縮めるだけだという診断で、思い切って、仕事を辞めて、帰郷した。

それ以来22年ほど経過したところで、糖尿病は良化したものの、今度は腎臓機能が悪化して、人工透析間近に追い込まれている。

透析に入ると1日おきに、病院での血液透析(1日4時間程度)を定期的に行わなければならない。したがって、旅好きの自分にとって、宿泊を伴う旅は、困難になる。

そのような経過の中で、今春、主治医からも宣言され、自分も納得の上、透析の準備施術(腕の動脈と静脈を結ぶ)もおこなった。いつでもその治療に這入る態勢も整った。

そこで、世の中、コロナ禍ではあり、その時北海道へのフルムーン企画の「ツアー」をみつけたが、「催行中止」が繰り返された。

県内であればとのことで、地元でもまだ訪れていなかった屋久島(2泊3日)を6月に、奄美大島・加計呂麻島へ10月に3泊4日、いずれも夫婦での個人旅行で、レンタカーを利用したの、自由な「旅」を楽しんだ。

その後、透析がヒップアップしていることでの「焦り」だろうが、八期会の歴史愛好家の皆さんからのお誘いに即座に乗って、爺さん集団4名で、11月初旬に2泊3日間、甌島列島を南北に一巡するマイカー利用の「旅」も行った。

甌島については、ほかのお三方が「紀行文」がなされるとの事であり、小生は、離島でも屋久島・奄美大島・加計呂麻島などへの「旅」で、出会った出来事や、現地の方々との交流について、感想や感慨などを中心に述べてみたい。

まずは、屋久島であるが、この島は、ご存じのごとく、丸い島で、九州一の標高を誇る宮之浦岳を有する、山岳島とも言える。島を周遊できる道路も完備している。

ご存じ縄文杉などが林立するヤクスギランド奥の高山は、登山客にとって、百名山のひとつであり、馴染み深い山であり、常にリックを背おった登山客のメッカである。



自分は、脊柱管狭窄症も併発しており、長く歩けない。したがって、その行動範囲はごく限られた場所しか、訪ねられない。そのことでの個人旅行であり、車利用が旅行の条件にもなっている。

したがって、この屋久島でも奄美でも、車で到達できる所までという「制約」がある。屋久島でもヤクスギランドから6キロ奥の、道路旗にある「紀元杉」(樹齢3,000年)は、木肌に触れることもできたが、縄文杉などへは、とても行けないのである。

奄美大島でも車で何とか行けたマテリアの滝などは見れたが、今年話題の世界遺産となった「金作原原生林」などへは、とても無理であった。したがって、行く先々のすべてを語るなどは、およそできないレポートであることをまず、ご理解願いたい。

まず、屋久島では、自分が何時もの「田舎への旅」によく利用しているペンションを探した。いわゆるネットでの「検索」である。帰郷後、鹿児島ゆかりのヴァイオリニスと川島成道のコンサート(彼がソロビューを果たして以来、東京地区で「おじさんお追っかけ」を自認して、鹿児島でも帰郷後、後援会を組織して、毎年、自主コンサートなどを開催している。



熊本市在住のエイジェンシーがいて、毎年何回も彼のコンサートを主催してくれていたことで、夜のコンサートでは熊本に一泊する必要があり、ちょうど、南阿蘇村にステキなペンション(ハーモニー)があり、毎年、常連として利用していたことで、屋久島でもそのようなペンションを探した次第である。



ネットで、日経新聞でのコンテストで、全国でも上位にランクされていたペンション(ルアナ)を見つけて、いきなり直接電話して、2日間の宿泊が確保できた。

後は、3日間の行程表作りである。

これも個人旅行であるだけに、車での順路。距離、走行時間などを「検索」して、該当日の日程表作りである。初回の訪問だけに、知らない土地・名所・旧跡なども観光パンフはもちろん、自分は、行程表作成には、地元の市役所の観光課または教育委員会などに問い合わせることが、最も確かな「情報」を得ることができると思い、行く先々の地元の役所に聞きながらの「行程表」づくりを行った。

旅行前の事前のこのような作業すら、「旅」がもう始まっている感覚になっている。

「旅の楽しみ」は風景や名所・旧跡を訪ねることも当然であるが、地元の人に触れ、珍しい産物なども食したり、確保することができることも大きな楽しみである。

その点で、宿泊なども個人旅行であれば、ペンションのオーナーなどとの地元の事情や状況の会話なども楽しみながら、料理なども通り一遍のシロモノではなくて、その土地の「うまいもの」にありつける公算が大である。

まさに今回の屋久島もその意の通りに進行できた。

見所は、ヤクスギランド奥の紀元杉、平内ヤ湯泊の露天風呂、西部林道のヤク鹿、ヤク猿のとの出会い、千尋・大川の滝、永田地区の時計草（パッション・フルーツ）の栽培農家まで行つての購入、志戸子のガジュマル公園などを主に散策した。

どこも険しい山が迫る丸い島には、「オドロキ」の連続だった。

『奄美大島・加計呂麻島の旅』では．．．

最初から自動車免許証を忘れて、取りに引き返すハプニングが起きて、行程表通りには行けなかった。

1日目、観光客が比較的小さい東シナ海沿いの大和村（宮古崎、徳浜の断崖、マテリアの滝など）や宇検村、古仁屋周辺の湯湾岳、油井岳展望台などをめぐることができた。



奄美最北端の笠利崎灯台



立神は宇検村の沖にあります。



マテリアの滝は大和村の山中です。

第2日目は、前日古仁屋港近くのホテルに泊まり、早朝、フェリーで加計呂麻島に渡り、島の南方の安脚場戦跡などはスリ浜、於齊のガジュマル、諸鈍のディゴ並木、呑みの浦の島尾敏雄文学碑、西阿室の立神、嘉入の滝などを見て、その日の夕刻の満潮を狙つてのマングロブ林でのクルージング（船）の見学などであった。



カケロマ諸鈍のガジュマルの木の前



赤木名城址



大和村の徳浜の断崖

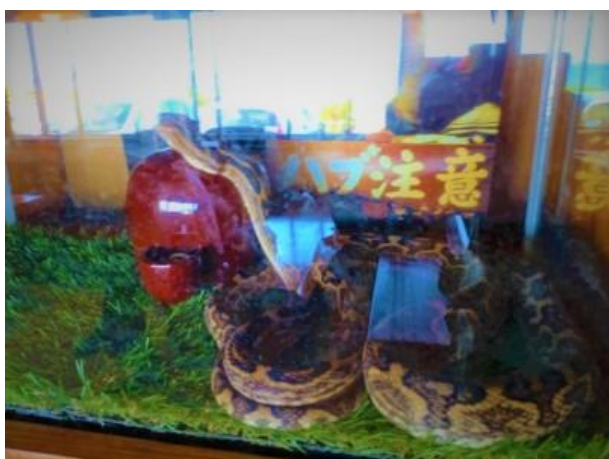
3日目は、西郷隆盛関連の龍郷町方面に行ったが、旧屋敷跡は閉鎖中であり、中は見えず仕舞い。その後、ソテツの群生地、原ハブ店、さらに奄美パークにある田中一村美術館なども見学した。ここは、びっくりするほどの立派な館であり、彼の画家としての足跡が年代別に分類されて、スゴイと感じた次第である。機会があれば、またじっくり鑑賞したい彼の絵画である。



龍郷町・西郷隆盛旧居跡（閉鎖中）



ソテツの群生林（見ないとわからない素晴らしい）



是非一度見てみたかったところです！！



再度、訪問したいと思いました。

奄美大島でモッカ（パイヤ）にありついた事。台湾生まれの自分としてはうれしい出会いであり、幼い頃の懐かしい味を思い出させる嬉しい出来事でもあった。

「旅の楽しみ」は現地で、このように経験したことのない「オドロキ」を感じる事である。

2021・11・15

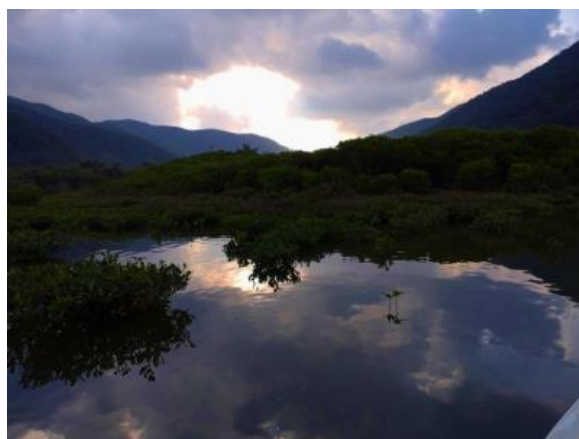
本田さんからお借りしたその他の思い出画像を説明なしで展示します。 大石



マングローブクルージングの時



夢見る岬町



油井の岬からの加計呂麻島の夕暮れ

ここからは12月1日になりますがまずは早々に飛び込んできた『オンライン通信55号』の諸氏の読後メールから始まります。1日早く出したので、早い方は、11月30日にくれました。 大石



○ 大石くん他皆さん

11月号も一気に読みました。

いつも編集の労をとってくれる大石くんに先ず感謝です。

八期会の活動も本部鹿児島でも細々と続いています、早くコロナが収束して皆で集まりたいですね。

東京では勇気を持って10数名の集まりをされたとのこと、よかったですね。

今月は、「聖徳太子」に関する話題が中心でいろいろ勉強になりました。

また、鹿児島の4人組の甕島旅を森くんが書いてくれました。

行った季節も天候も申し分なく、ほんとうに楽しい旅でした。

これから本格的な冬が到来します。お互いに気をつけて過ごしましょう。

隈元達雄



○ 大石さん森さん

西山さん ほか 八期会の皆様へ

森さん 巻頭文 作成 ご苦労様でした。

今月も 聖徳太子 実在されたか？……など TV 再放送あたりで 意見交換出来ました。

関東も しばらくぶりに 寄り合い会合 持たれたようですね！ 関西は しばらく 休止しております。

西山さんの米国流通業界 レポート 読みました。

レポートの中で 新型コロナ・パンデミックで、レストランなどでの外食を避けている消費者は、自宅での安上がりな調理に楽しささえ感じているとの記事、興味持ちました。

シーフードは、レストランで食べるか、フードサービスでの購入が多かったが、新型コロナによるレストランの営業制限で、米国人の86%が、自宅で調理するようになった。生鮮シーフードは週末に特別なものとして購入されているとの話…驚きました。

次に 中国リスクのジレンマの項で

中国への製造委託は中国人労働者の賃金を上昇させ、2015年、中国の時給は6.50ドル、メキシコの4.82を超えたといわれている。対策として、生産拠点を自国内に戻す「リショア」が検討されている…最近はもっと上昇しており、日本も、ベトナムなどのアジア諸国への拠点移転が促進、検討されているようです。

戦後の日本 経済復活は 原料輸入し 製品加工生産し 輸出して ドルを稼いだ時期が長く続きましたが、プラザ合意、円高で、日本も 米国と同じく 中国、東南アジア諸国へ 生産拠点の移転が進行しました。

また、最近のIC(集積回路)不足は、深刻な問題になっています。1980年代のアメリカに勝った「日の丸半導体」も凋落し、台湾メーカーの生産・技術で 熊本に工場を建設することになったとの新聞記事が掲載されていました。東芝や富士通、NEC、日立などは今では世界の先端技術から取り残されているといわれ、状況は全く様変わりしております。

西山さんの米国流通界レポート読ませていただき、感じたままを書いた次第です。

以上 八期会通信 11月号 メールしていただき有難うございました。

木場 祥雄



○今日は11月30日(火)

昨夜から、『八期オンライン通信55号』の最終整理をして1時ごろ PDF に変換しました。

今日まで昼は温かいけど明日から本格的な冬の到来で天気も悪くなるとのことです。

昨日も小春日和、ポカポカ陽気に、娘と孫娘(エリカ)それに私たち二人の4人で近くの慈眼寺公園の紅葉狩りに行きました。

鹿児島は近場に紅葉を観るところが少ないです。... ふと、小・中学生の頃に訪れたことを思い出し

慈眼寺に行ってみることにしました。 答えは正解でした！



何年か前に訪れた京都・嵐山の『大河内山荘』の見事な紅葉とは「月とスッポン」の感がありますけど、千利休が観たら「こちらの方がわしは好き」というかも知れません。

平安時代に詠まれた百人一首の句を思いだす小さなファミリーデーでした。

持って行ったミニテントの前の楓がいちばん綺麗なのか？

多くの紅葉ファンが立ち止まってスマホカメラや中には本格的な鼻の長いズームカメラを三脚立てて撮ってる人もいました。ちなみにネットで確認した百人一首(5番目だそうです)の句を添付します。

『 奥山に もみじふみわけ 鳴く鹿の 声聞く時ぞ 秋は悲しき 』



○大石さんへ

海音寺潮五郎の著書楽しみにしています。昔若い時分、同氏の本は「二本の銀杏」など沢山読んだ記憶があります。

上京の節は是非会いたいものです。五体満足という訳ではないのですが。コロナの関係で郷里にも久しく帰っていませんので。

副島律子さんの名前、懐かしいです。柏市に居住とは知りませんでした。

お元気なんですね。

うろ覚えですが、小学時代は同級生だったような気がしています。

佐倉市 古市



○ 大石さん

いつものことながら、深夜遅くまでのお骨折りありがとうございます。

優雅な紅葉狩りいいですね！

東京で同期の集まりがあったとは、寡聞にして知りませんでした。

大石さんがまとめられたものを読み返してみました。

聖徳太子（厩戸王）は存在したと思います。

しかし、伝えられていることを聖徳太子が行ったかには、疑問を呈してもよいかと思います。

「聖徳太子の晩年のいろいろな考えは、政治家としての失格、そこから個人的な仏教の無常観といった思想にはいつていった感じがしますね」（松本清張の日本史探訪：106頁）

また、「17条の憲法」は、「白鳳時代の聖徳太子信仰家の、寺院の僧侶の偽作かもしれない。」（同107頁）

聖徳太子には、邪馬台国並みにいろいろな説があるようです。

高岡筋のことで少し補足します。

島津又四郎忠平（後の義弘）が、組織した鉄砲で30挺（1組10挺を3組）を組織しての岩剣山攻撃は、大きな成果をあげた。

これは、主力武器が弓矢から鉄砲への転換期の出来事であった。

その後の山城から平野への平城へ移行した。

それはなぜかの大石さんの問いに回答が中途半端になっていたので、ここで補足します。

主力武器が弓矢であった時代には山城が機能したが、物資の運び入れ、家臣の居住では難渋した。平野の平城なら、それを楽にできる。

平城での防御は城壁に銃眼（狭間）を設けて、攻め来る敵を討ち取れる。

また、平城の大きな特徴は、城門を破って敵兵が乱入してきても、その先の門は閉じられ進入を阻止される。

柵の中に閉じ込められたような形になることから、このような作りを柵形または柵形虎口（ますがたこぐち）という。

柵形に閉じ込められた敵兵に周辺の高い位置から鉄砲を浴びせることができる。鶴丸城もそのようになっている。

お城の見学で、ここが柵形という説明が行われることがある。

鉄砲は、攻撃ではなく防御にも用いられて、築城の立地に革命をもたらした。 西山アンサー



○ 木場さん

米国流通業界レポートお読みいただき

コメント 誠にありがとうございます。

世界の動向を知ることは楽しいことであり、

ボケ防止にもなっています。

===== 西山アンサー



○ 11月5日をスタートに13回に渡って今回の「物好きオジさん甑島4人旅」を書いてきました。最終の12月1日には大石くん撮影の動画を締めくくりとして拝借しました。動画についてはコメント欄に素晴らしいという感想が寄せられています。その動画はそれまでも110回という閲覧者がいましたが、昨日から今朝までに10数人に見てもらったようです。ブログは11月5日をスタートに「< 新しい記事」を次々にクリックしていけば見ることができます。 隈元達雄 以下、ブログです。

["https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202111050000/" />](https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202111050000/)



○ 地層の模様を興味深く見ました

太古の昔は陸地と続いていたのかもしれませんがね
それとも、隆起して周辺が浸食などで消えたのか
大きな地殻変動があったのでしょうか
よいものをご覧になりましたね！

離れ小島の「甑島」に、予想外に立派な武家屋敷
中国や東南アジアとの交流の船が意図して、または意図せずに
寄港したのかもしれないと想像しました。

中国から帰国の遣隋使・遣唐使の船も、坊津を目指す途中で
漂着したことがあったでしょう。

種子島や屋久島辺りへの漂着もあったようです。

いろいろなことを想像させるロマンスの島の天晴4人男の旅
さぞかし楽しかったことでしょう
蛇足：朝食の干し魚、カナスではなかったでしょうか？

=====西山 和宏



○ 大石です。こんにちは😊

やはりあなたのドキュメンタリーブログは素晴らしい。

同行した者がいうのだから間違いない。

特に素晴らしい(驚く)のは、画像とのマッチングです。

自分の動画が恥ずかしい(なのに褒めていただいた)。

惜しいのは、ブログの制作上のことだと思うけど、回ごとが短いこと。一回がもう少し長めでもいいのでは？

同行した者の意見かもしれないけど。

ぜひ、八期用に画像入りで一編にまとめて pdf に変換して LINE とメールに送って欲しい。

『八期オンラインで通信』2021年の付属編にしたいので。 大石



○ とにかく地層が変化に富んでいて奇岩と共に見る者を飽きさせないものがありました。

甑島は地理的に見ても日本への薩摩への海上からの入口として貴重なポジションにあり、特にブログでも紹介した上甑の平良港は薩摩藩の密貿易の中継地として使われたそうです。

朝食の干物はよく覚えていませんが、99%おっしゃるように「カマスの干物」だったと思います。 隈元

○大石くん



早速拙ブログをLINEで全国発信してもらってありがとう。

おっしゃるように今回は訪問地ごとにアップしたので飛んでもなく13回もの短編綴りになりました。途中からどうかしようと思ったのですが、そのままの流れになってしまいました。

今後はもう少し長編にしてもいいですね。

PDF転換のソフトをインストールしましたが、難しいですね。ちょっと試行錯誤してはみます。 隈元



○大石、隈元、森 様ほか、皆様方へ 12月2日

「甌島4人爺さん達の旅」のお三方の動画、レポート、など、どれも楽しく拝読、拝見しました。それぞれの「想い」を意識しながら、見事に描写されており、参加させていただいた一人として、誠にありがたく、彼の日を改めて麗しく思い出しています。

甌島は2回目でしたが、前は、上甌島のみであり、今回の初めての下甌島が、上甌と比べて、異様に海岸線がどのように断崖絶壁であること、それも至る所で複雑な断層と沈下が長い時間をかけて進行したと見えられること、ホントに「オドロキ」でありました。

甌島からは近くである吹上浜(30Kmに及び日本三大砂丘地帯)近くに住んでいる自分にとって、時にははるかに望見できる甌島がこのように断崖を持つ海岸線を形成している事も、「オドロキ」の最たるモノでした。

かねてから旅好きであります、「旅」もオドロキに出会うことが一番の楽しみであります。

自分は文学も音楽も大好き人間ですが、これらも「オドロキ」に出会うことがあるからこそ、「好き」になっているのでしょう。

皆さんの仲間に入れていただいた今回の「旅」は自分にとっても、ありがたく、感謝の至りです。今年、コロナ禍ではありましたが、屋久島、奄美大島・加計呂麻島、甌島と県内の島巡りができたこと、ほんとうに嬉しく思っています。

今後も、何卒よろしくお願ひいたします。

2021, 12, 2,

本田 哲郎



○ 12月2日

本田さん 吹上浜近くにお住まいですか まさに白砂青松の実に佳い所ですね！

吹上浜といえば、小学校6年の時キャンプで、飯盒炊爨、そして屋外映画「暁の脱走」、池部良と山口淑子、機関銃で撃たれたラストシーンは印象的でした。


もう1つ、玉龍時代の夏休みに先月亡くなった中間一範さんと自転車で行きました。そのとき、後ろの荷台に括りつけてあった三脚のパーツが振動で緩んで落ちてなくなっていました。

鳥取砂丘を訪れたとき、盛り上がった砂丘には驚きましたが、横幅が狭いのにも驚きました

風光明媚な吹上浜、さぞかし美しい夕陽が見られることだと思います。

=====

西山 和宏

○おはよう。大石です...  12月3日

今(12時)天気も良く波は少しあります。

釣り船が一艘。後ろに二人連れが釣りの🎣最中。羨ましい...後ろ(正面が正しい)の向島のクリアさに思わずシャッターを。

貴久関連の講演会。行きたかったけど。

内容は、この前送った切抜きの続きかな。

新名一仁さんの話はテンポが良くて好きです。

ではまた。

○森くんからLINE 仲間に報告がありました。

玉龍同窓会幹事会2021



○興味ある方はどうぞ  12月4日



○毎年巡り来る12月8日、そして暮れがあって 正月

客観的な情報やデータに基づいての判断や作戦策定はしない

ましてや最悪どころか目論見が狂ったときの対策は考えないことにする

ことにして始めた戦争。そうせざるを状況に追い込まれたこともあったが

その状況を回避または緩和す知恵はなかったか、それを無視した。

新型コロナウイルス対策に、戦争に敗けた経験は生かされていない。

うまく収まったら、手柄にしたい者は多い。

あらゆる角度から歴史教育が必要です。

一つのテーマに対して、3人の筆者の物を比較すると面白い。

= ===== 西山 和宏



○ 西山 和博 様 12月4日

メール、ありがとうございました。

いつも、西山様の華麗なる筆致の文章に感嘆しています。

小生の故郷は、吹上浜海岸の中央部に位置しています日置市吹上町永吉地区であります。

砂丘までは、車で5分もかかりません(徒歩で約30分)が、其処が小生の故郷の住まいであり、40数年の関東での「出稼ぎ生活」を終えて、帰郷して、早や22年目を迎えています。

おっしゃるように、吹上浜は砂丘地帯であり、日本三大砂丘で、いちき串木野市から砂丘が延々と30数キロ南さつま市(加世田)以南まで、円弧を描いての白い砂丘の海岸線が続いています。

今回の「旅」で、近くの「甑島」の特に下甑島の外海の海岸線の断崖絶壁の羅列には、「オドロキ」でした。

砂丘を囲む松林は、広い所では横幅が5Kmも及んでいます。

幼いころ、海水浴などの帰りに、松林の迷い道に入り込み、自宅へ帰る道に迷い、松の木に登り、海を見ることで、逆の方向に松林を駆け抜けたこともありました。

夕陽も確かにきれいですが、快晴の日でも、夕刻になると日没する海岸線上には、大体薄雲がかかり、波間に消える「太陽」は直接、なかなか見れません。

帰郷して長いですが、今まで、海岸線延長の波の上に直接沈む夕日が視れたのは、今まで2~3回でした。

その時の、波の上にきらめく太陽の光は、誠に荘厳とも言えるほどの神々しい「想い」をした事でした。

めったにそのような「時」に巡り合うことはありません。

今は、吹上浜でのキャンプ場はどこも「閉鎖」されています。 寂しい限りです。
さつま湖近くにありましたキャンプ場は、今は立派なサッカー場に変身しています。

幼い頃の友人らに囲まれながらの、老後の残り少ない人生ですが、何とか生き甲斐を探しながら、
あと少しばかり生き延びて、この「ふるさと」で土に帰りたいと願っています。

2021, 12, 4,

本田 哲郎



○返信メールありがとうございます。

溶け込むように波間に大きな夕陽がめったに見られない
却って荘厳なものだと思います。

夕陽は沈み始めると、どうしてあんなに早く没するのでしょうか？
見ている間に消えるのも思いやりでしょうか？

=====

西山 和宏

○12月6日 大石発 西山レポート12月 年間特集 十大ニュース 必見！

○大石さん

いつも ありがとうございます。

西山さんのレポート 添付の IMG0410-MOV は 桜島と海岸ペリが映し出されます。

レポートうまく開けません。

再送お願いします。よろしく

木場 祥雄

○12月6日 大石発 かごしま街道見聞録【36】高岡筋 「伊丹明の二つの祖国」お届けします。

○本当に悲劇的なお話ですね

「錨のない船：加賀乙彦著」には、父が日本人外交官、母が米国人の男子が
日本軍の航空兵として戦った様子が書かれていた。

もしや伊丹十三などと関係がないかとウィキペディアをクリックしたら
伊丹十三との関係は見つかりませんでした
次のように書かれていました。

伊丹 明(いたみ あきら、[1911年 - 1950年12月26日](#))は、[日系アメリカ人二世のアメリカ陸軍軍人](#)。「伊丹明」は飽くまで日本語での呼称で、本名はデイヴィッド・アキラ・イタミ(David Akira Itami)^[1]である。デイブ(Dave)とも呼ばれていた。

一生涯[編集]

[アメリカ合衆国カリフォルニア州オークランド](#)生まれ^[1]。3歳より、[鹿児島県加治木町](#)の叔母のところへ預けられ、そこで少年期を過ごす。[鹿児島県加治木中学校](#)を卒業後、[1928年](#)より[大東文化学院](#)に入学し、[漢籍](#)や[インド哲学](#)を研究する。

[1931年](#)にアメリカに戻ると、[1935年](#)に日本国籍を離脱^[1]。[カリフォルニア大学](#)に入学し、日本語新聞の『[加州毎日](#)』の記者となる。[1941年](#)12月に勃発した[太平洋戦争](#)により、収容所生活を強いられるが、[アメリカ陸軍情報部](#)に勤務することとなる。任務は日本軍の軍事暗号を解読することであった。[1943年](#)に、[ドイツ](#)から日本へ寄贈される2隻の[潜水艦](#)のうちの1隻、[U-511](#)には軍事代表委員の[野村直邦](#)中將が便乗することとなっていたが、そのやり取りに、[薩隅方言](#)(主に鹿児島県で話されている方言)が使われていた。[アメリカ海軍情報局](#)は盗聴しつつも、この会話を解読出来なかったが、伊丹によって内容が明らかにされた^{[2][3]}。



[1946年](#)4月に始まった[極東国際軍事裁判](#)で、伊丹は通訳モニター、すなわち日本側の通訳についてチェックする役割を担った。後に小説化された『[二つの祖国](#)』や、ドラマ化された『[山河燃ゆ](#)』において、戦争責任をめぐる裁判に関する業務において、アメリカ合衆国と日本との間での、仕事の上での重圧が耐え難いものだったことが、推測されている。[1950年](#)に、ピストル自殺を遂げる。享年39。

なお、[1984年](#)には [NHK](#) にて、[大河ドラマ『山河燃ゆ』](#)が放送されたことで、[ハリー・K・フクハラ](#)と並んで主要登場人物のモデルとして注目されることとなった。なお、小説やドラマと違い、実際の伊丹夫人は、いわゆる「良妻賢母」だったと伝えられている。



○大石さん西山さん

メール配信ありがとうございます。

西山さんのコメント メールで 背景など よく 理解できました。

「二つの祖国」見たような記憶？ありますが、記憶に残っていません。

「山河燃ゆ」もおなじく 大河ドラマで見たような？ 同じく記憶に残っていません。

もう一度 見たいものです。

木場 祥雄

○A B C Dとの国力差は20：1と分かっていながら始めた戦争

視点を変えて、国力差20：1の日本を戦場に駆り出すために特に英米はどのようなことしたのか知りたいところです

日本は、いろいろやられて頭にきて真珠湾を攻撃したのでしょうか

温和な善人相手を一方的に殴りつけたわけでもないでしょう
どのようにして、戦争に追い込まれたかを今こそ知り、
戦争に追い込まれる状況を巧妙に回避しなければならないと思っています。

=====西山 和宏

○マーコより

水仙ですが、葉っぱを


入れるのは 葉はいくらでも ためられるので 面白いので葉っぱも送る
のです

うちの水仙です ピンクの花は この辺にしかないネリネ 鉢植え 1ヶ月
位咲いてます 花瓶は 桜島レインボー桜島に 姉達と泊まりました時
記念にと一個ずつ買って姉が配りました m(_ _)m



○12月10日 大石より「新聞切り抜き発信」

記者はなぜ自決したか？「報道報国」の果て ①

わたしたちは太平洋戦争  の直前に生まれ戦中を幼児そして戦後の混乱期を低学年、やがて復興の担い手から
高度成長期へと…この 80 年太平洋戦争最後の現役世代(記憶している)というある意味貴重な世代といえます。

気のせいか今年、2021年の 12 月 8 日(真珠湾攻撃)は今迄の記
念日とは違う感情を持つのは自分だけではないのでは？

関連 TV 番組や新聞記事にも流し観や、読みスルーを躊躇してし
まいます。

今日切り抜いた保坂さんの記事、「記者はなぜ自決したか？」…
父と同じ同盟通信記者の話だけに、読み返すことでした。

父とは亡くなるまでただの一度も北京特派員時代の何の話も
聞かず知らず仕舞いでしたので…

○お父様が同盟通信の記者であったとは
早くから日本の敗勢をご存じであったでしょう
前線の悲惨で残酷な状況にも接していらしたのでしょうか

高校卒業の年に五味川純平の「人間の条件」
貸本屋で借りて読みました。

1980 年代初め、シドニーのホテルでズボンにアイロンを
かけようと思って、持ってくるように電話で依頼しまし
た。やがて、中年すぎの小太りのメイドが持ってきて何
にアイロンをかけるのかと聞かれ、ズボンだと答えると
それだけならかけてあげようといってやってくれました



アイロンをかけながら日本人かと聞かれ、そうだと言うと私のパパとママは日本の兵隊に殺されました
でも、あなたはその頃はベビーだったでしょうから何も知らないよねと言われました。
彼女はフィリピン人でした。

その後の会話がどうなるのか、心配でしたがそれ以上の会話はなく、ズボンのアイロンかけは終わり
バイバイと言って、アイロンとアイロン台を持って部屋を出て行きました



西山 和宏

○新聞記者(同盟)の記憶…まだ続いています。
5回目かな?送ります。大石
西山さんが書いた通り電連絡みでしたね。

○本紙登場者は、28歳、29歳、30歳の働き盛り、みなさん張り切っていたでしょうね。

それだけに戦局が怪しくなったときの落胆は大きかったことでしょう。

ところで、掲載の写真、銀座にあった「電通ビル」。学生時代、短期間ながら「吉田秀雄：鬼10則」の電通の総務部でアルバイトをしました。

12時近くなると、総務課長に食堂が混まないうちに行きましょうと誘われて食堂へ行き、

12時前には昼食を済ませた。日比谷公園へ、水曜日には警視庁音楽隊の演奏が昼時にあり、

他の日は、バレーボールをしている輪に入れてくださいと言って入りました。

長閑で楽しい時代でした。

○ 20日前後に、面白い（中古の）本をアマゾンからお届けします。

=====
西山 和宏
=====



○クマモトコメント

大石くんの言う通り今年の12月8日は太平洋戦争開戦(1941年昭和16年)から80年ということもあり、12月8日を81歳か82歳で迎えた私達の世代にも記念すべき年になりました。

終戦時の昭和20年8月15日が5歳か6歳で翌年の小学校入学という大変微妙な年齢で戦前・戦後を知る最後の世代と言ってもいいでしょう。

新聞もテレビも開戦80年ということもあってか、これまでになくさまざまな話題を取り上げていますね。

森くんの叔父さんで「秋丸機関」の中心であった秋丸次朗さんの「秋丸機関の顛末」についてその息子さん(森くんの従兄弟)も今回テレビ出演されましたがホームページ「えびの便り ふるさと宅急便」を見ると、より理解が深まります。

今回のテレビ出演のために取材に来たNHKクルーとの写真なども掲載されています。

大石くんの父上が記者をされていたことは以前書いていましたが、新聞記事にある「同盟通信」だったということは初めて知りました。



あの時代に記者だったということは、敗戦後も人に話すことがはばかれるようなこと多く、多くを語らずお亡くなりになったのでしょ。

私の父もこの記事にあるフィリピンのルソン島で昭和20年6月1日に亡くなったことになっています。今日の記事にあるルソン島中南部にいたのか知りませんが、多分そではなかったのかと記事を読んで思うことです。

だとすれば、「約10万5千人いた日本軍のうち、終戦まで生き残ることができたのは約1万2500人と見積もられている」とあるように終戦までに亡くなった10数万人の中の一人だったのでしょ。

父は2回出征をし、1回目は帰還し2回目は満州に行って、そこから向こうの子どもたちと草原で写真を撮ったものが送ってきたのが最後です。

その後は何処に転戦して行ったのかもわからず、終戦後3年(私が小学3年時)も経って「フィリピン・ルソン島で戦死」の公報が届きました。

これを機会に厚労省にでも軍歴を問い合わせしてみようかとも思っています。 隈元達雄



○大石さん・隈元さん・西山さん・森さんほか 八期会の皆様

12月8日 真珠湾開戦 80年が今年もやってき NHK BS「真珠湾80年 生きて 愛して そして」見ました。今年はいろいろな面で 話題にふれているように感じましたが、私だけでしょうか？

この時代 開戦はほとんど記憶なし 終戦前後の記憶あるのは 19年、20年ごろからで、父が南洋マニラでの戦死公報が届き 葬儀を行ったことなどが 記憶に残っています。その後の苦しい生活の経験が記憶にあります。

なぜ アメリカと対戦？ アジア諸国に進軍して行ったか？など 深く追求していくような気迫も持ち合わせていません。ただ、こんなこともあったなあ・・・と見ているだけになりました。

GHQによって 再び 日本が大国にならぬよう いろいろな面で 仕組まれてきたこと、歴史教科書などにしても、破棄され 世界でも 有数の歴史ある国柄であったという記録がなくなっている。

戦後の教育が なされていないという点 問題でした。

など 言いだすと限りないので このあたりで止めます。

まあ 残されて 余命を 健康で 過ごしていきたいと考えている今日この頃です。

木場 祥雄



○12月12日

隈元さん

本当に大変でしたね

という言葉では、すまされないものであったでしょう

どこでどのように亡くなったのか分からない状況では

本当にやるせないと思います。

米国には無名戦士の墓のような概念はないようです

兎に角、捜し続けるそうです。

アーリントンの墓地には、戦死者の妻も一緒に墓碑があります。

「一将功成りて万骨枯る」と言われるようなことが

繰り返されてはいけません。

人間の命や名誉は身分や階級にかかわらず大切なものです
礼節の国と言われるのは、これを守ってきたからです。
それも今は昔ということでの看過したくありません。

=====西山 和宏=====



○ 木場さんも 大変でしたね
原爆も悲惨でしたが
至る所で悲惨でした

若い政治家は戦争の悲惨さを知らず
国家の役割は国民の生命と財産を守るものであると
いうことを意識していないようです。

総理大臣が変わるたびに、北朝鮮の拉致問題に全力を
あげるといふ人が登場します。
あのブルーのバッチはいつまで着けているのでしょうか？

=====西山 和宏=====

○12月10日

森くん

先日のテレビ見ましたよ。

秋丸さんもお元気な様子でしたね。

また、えびの市に行きたくなりました。

皆さん

下記の拙ブログに先日の NHK「おはよう日本」の「秋丸機関」のことを書きました。

興味がある方はどうぞお読みください。 隈元達雄

追記 今日父のことを少しでも知ろうと思って県の社会福祉課に「軍歴証明書」をお願いしました。
どこまで資料があるかわからないが2週間位の間はその経過を知らせるとの返事をもらいました。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>



○ 父上の消息が分かるといいですね。

○11日

ウィキペディアに、

1936年に発足した同盟通信社は、1945年の時点で本社は総務局、編集局、通信局、経済局、調査局の5局27部に区分され、国内は6支社、62支局を抱えた。国外には中国・中華総社(南京)の下に3総局23支局、アジアは南方総社(昭南)の下に7支社23支局が形作られ、国内外合わせて約5500人の社員がいた。とありました。

記事の中にあります安藤輝三大尉は、当時の侍従長鈴木貫太郎を襲い、銃弾数発を浴びせ、止めを刺そうしたとき貫太郎夫人「たか」から武士の情け、止めは家族にさせてくれて言われた。

「たか」は、昭和天皇と三笠宮の兄弟が幼少のおり養育係を務め、その2人から母親代わりと慕われた。「たか」が、貫太郎の後妻に収まったのには、昭和天皇の側面からの薦めもあった。

安藤大尉は、三笠宮から「たか」が母親代わりであったとの話は聞いていた。貫太郎に向けて機関銃ではなく、遺体が手酷く損傷しない銃弾数発に止め、「たか」に言われて止めも控えた。

安藤大尉一行が立ち去ると、「たか」は、貫太郎の治療の医師依頼の電話を皇居に入れた。それが、2・26事件を皇居に知らせる第一報であった。それは、すぐに昭和天皇の耳にも達し、貫太郎も、長年、昭和天皇の傍にあって父親代わりとも思われていた。それが襲われたため、近衛兵を率いて討伐にあたると、軍服を着用した。

昭和天皇が、第一報として、父とも思い、母とも思っている2人が襲われたことを知ったことは、その後2・26事件処理に大きく影響したと思う。

=====

西山 和宏

=====

○Re:令和3年(2021年)の漢字 “金”に決まる



大石さん、森さん、隈元さん、西山さん(順不同) 八期会の皆様へ

例年 京都清水寺の舞台上で発表される「今年の漢字」は「金」と発表された。

立派な袈裟を身にまとった森清範貫主が、大きな和紙に太い筆で一氣に書く様子は、師走の風物詩となっている。

今年の「金」は 東京五輪で日本選手が多数の「金」メダルを取ったこと、大谷翔平選手が大リーグで MVP、将棋界 藤井翔太さんが最年少四冠獲得など、各界で金字塔を打ち立てたことなどが選考理由としてあげられる。

2020年は「蜜」、2019年は「令」、2018年「災」、2017年は「北」、2016年「金」、2015年「安」、2014年は「税」、2013年は「輪」、2012年は「金」、2011年は「絆」であった。

「金」は 2000年、2012年、2016年、今年と4回目である。

もっと、遡って見たければ 最初からの分を 添付ファイルにてメールしますのでよろしく。

木場 祥雄



○12月13日木場さん

早速ありがとうございます。

今年も「金」でしたね。

しかし、私的には「金」もですが「災」の方がピッタリだったような気がします。

オリンピックの金や大谷選手の金字塔などもありましたが、大谷選手の「金」金字塔はともかくとして
オリンピックは無理やり開催に見えて私はコロナ禍のこともあり「銅」か「洞」だったような気がします。

隈元達雄

○12月13日 隈元発

聖徳太子

面白い記事があったので添付します。 隈元達雄

["https://www.mag2.com/p/news/521025"](https://www.mag2.com/p/news/521025) /

○面白い記事 ありがとうございます。

この時代も なかなかおもしろいですね

添付記事の中に



「厩戸王子（聖徳太子）と蘇我毛人（蘇我蝦夷）を中心に……」

とありましたが、蝦夷ではなく馬子ではないでしょうか？

聖徳太子といえば、その際立って天才ぶり、善政ぶりが取り上げられています
長年要職にあった蘇我馬子のサポートは大きかったと思います。

壬申の乱など天皇の座を巡る争いの凄まじさには驚くばかりです。

=====西山 和宏=====



○隈元さん

興味深く 読みました。聖徳太子など 有難うございました。

Renaissance を 監修されておられる田中 英道東北大学名誉教授は 神話 縄文時代から
日本の歴史は 世界に比べ 比較にならないほど 昔から栄えた国であるとのこと 遺跡を主体に
して 日本の歴史を検証されておられる方で 私も この教授の書かれた本を 読んでおります。

たまたま 隈元さんが目を止めて頂き 友達ができたかな・・・と心強く感じた次第です。

聖徳太子 実在した・・・との確信したのは この先生の本を読んで 確信した次第です。

この教授は フランス、イタリーなど留学され、イタリヤ・フランス美術史研究の世界的権威者でもあります。

最近は、西洋中心だった研究活動を日本中心に転換。「神話で読み解く日本の起源史」など取り組んでおられます。 ” 卑弥呼”の大和朝廷説についても 存在したという遺跡などが見当たらず(中国の魏志倭人伝による？だけで)ということで 否定的な結論です。

鹿児島にも 国分市に 卑弥呼神社ありますが ぜんぜん実態のない神社見たいです。

情報メール 頂き有難うございました。木場 祥雄



○ 西山さん 木場さん

私は聖徳太子の詳しいことは知りませんが、こういう機会に一つづつでも知識を得たらいいなと思っています。

蘇我毛人(蝦夷・そがのえみし)は蘇我馬子を父とするとあります。

自分と子・入鹿の墓地をつくり大陵、小陵(陵は本来、天皇の墓を指す)と称したようです。

最後は自殺したとか。

「神話で読み解く日本の起源史」の紹介ありがとうございます。 隈元達雄



○聖徳太子が万能の天才で、あの時代革新的なことを成し遂げたというのは、少し短絡的だと思います。

蘇我馬子の存在は大きいと思っています。

聖徳太子はインテリではあったが、為政者としての大きな事業を成

し遂げるだけの経験を積んでいたか？

あの頃は権謀術数渦巻く大変な時代です。

なぜ、女性の推古天皇を誕生させたのか？

=====

西山 和宏

=====

○2月16日 デスク黒澤俊雄の最後の様子、いずれも真実であったと感じます

寂しく無念であったでしょう。

編集後記：書くべきことを書く自由を失った記者はどうなるのか。

現代の新聞・テレビに献上したい言葉です。

=====

西山 和宏

=====

○ 特に編集後記には考えさせられます。

自決については異なる証言もあるとのことですが、軍に組み込まれて肉体的にも、敢えて言えば思想的にも自由を奪われて全ての点で逃げ道のなかった記者たちの辛さがわかるような気がします。

黒澤記者ともう一人の自決者・松崎記者の遺書と辞世の和歌を読むと自決せざるを得なかった様子が伝わってきて胸をうたれます。



更に「ただ、当時の記事を読んでいて感じるのは、出稿の自由を奪う検閲があったとはいえ、読者への視点を欠いている点だ。…」とあるが、あの当時の日本の指導者の率いる軍の幹部のやり方などを想像するに記者にそれらを求める書き方はいかなものかだと思います。もちろん、それは現在にも通じることで、政府の都合のいいように報道されると言われることに危機感を感じつつもです。 隈元達雄



○ パソコンがドック入りのためしばらく交信が出来ません

ちょうど一年前に買い替えただけのパソコンですが、私の未熟さから office の保存が出来なくなり、再設定をしようとしたが、それもゴタゴタしたため、今日からドックいりします。

どれくらいの日数がかかるのかわかりませんが、交信ができなくなります。

自分自身はおかげさまで元気です。

隈元達雄

○ パソコン・トラブル本当に大変ですね

パソコン・トラブルの復帰は不可能でも分かれば屁のようなものキチンと診てくれたらごく短時間で直るはずいずれにしても幸運を祈ります！ ===== 西山 和宏



○ 「大山鳴動して鼠一匹」とはこのことでしょうか。

今日、アプライドにパソコンを持ち込みましたが、わずか 20 分くらいで解決しました。

私が数日間 OFFICE の再設定をしようとバタバタして迷路にはまり込んでいたのが馬鹿みたいな話になりました。

パソコンを買う時に登録用紙に電話番号を記入する場所があり、そこには携帯電話番号が望ましいと書いてあったので、携帯を持たない私は自宅の電話番号を書き込んでいました。

今回、再設定をしようと自己流で画面に表示されるマイクロソフトからの文言に従う中で「ある 4 桁の数字」を電話で送付するのでそれを書いて返信をするようにとの指示がありました。

私はてっきり電話が掛かるものと思って待機していても電話は来ず画面にそれらしき数字が表示されます。その数字を返信しても配信出来ないとの画面が表れます。

今日行ってわかったことは、携帯電話を登録していれば携帯に自動的に「ある 4 桁の数字」が送られてきて、それを返信すれば OK だったのです。

そこで、今日は一緒に行っていた家内の携帯電話を登録してもらって、返信の「ある数字」を打ち込んでもらって復元できました。

まあ、以上のようなことで無事に WORD も使えるようになりました。お騒がせして申し訳ありません。今後ともよろしくお願ひします。 隈元達雄



○ 隈元さん

PC 回復出来てようで 何よりです。

いつも 使っていることが できなくなるということは なにか 不便で 不安になります。

なにはともあれ 回復でき 万歳！

木場 祥雄

○ まずはよかった メデタシ、メデタシ hotしたでしょう！

○ ありがとうございます。ホットしましたが、これからも爺さんは心配です。(笑)

○皆様



ご無沙汰しております。吉永英未です。

私は先月 19 日にコスタリカから帰国いたしました。

南米の暖かさから一変し、冷たく、しかし身体が覚えている冷たさを東京で感じました。今はその冷たさを感じる度に日本に帰って来たことを嬉しく感じています。

さて、私は 12 月 18 日に卒業式を迎えることになりました。

フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学で社会人類学を学び、コスタリカにある国連平和大学では、メディアと平和・紛争学を専攻して参りました。このダブル・ディグリー修士プログラムは、アジア・ピースビルダーズ・スカーラシップとして知られており、日本財団の財的支援のもと、日本人と東南アジア、スリランカからの学生が毎年約 30 名ほど参加しています。私はその一人として、経済的に不自由なく約 2 年間学ぶことができました。そして何よりも、コロナ渦において、休むことなく、この約 2 年間留学生活を送ってこれたことに改めて支えてくださった方々に心から感謝しております。

そしてこの度、12 月中旬から国際協力推進員として、独立行政法人国際協力機構 (JICA) (竹橋) で勤務することになりました。国内事業部外国人材支援室において、外国人労働者の支援を行います。これまで学んできた、開発、そしてメディア、平和学の知識が活かせる職場に就職することができて、大変嬉しく思います。また、私は中国において出稼ぎ労働者の方々と交流をして参りましたので、今回その国の枠を越えて多くの国の方々をはじめ、企業や自治体、行政機関等と連携し、外国人労働者の方々の労働状況、生活状況の改善のために尽力できることに心から嬉しく思っております。

生活面では、復旦大学時代から数えると、約 7 年間日本に住んでいなかったため、東京での就職に、家探しから何までわからないことが多々あり、不安もございすがこの土地で、私も今の自分にできる最大限を尽くしていきたいと思ひます。

コスタリカでの日々は、自らが自分の背丈以上のものを求めたために、非常に苦しかったものでした。高い目標に挑戦することは誰も止めないものの、自分にそれだけの負荷がかかることを、私は挑戦する前に考えてもいませんでした。考えることを避けていたのかもしれませんが。そのために、道の半ばにもうこれ以上、坂を登れない、と自分自身の限界を見ることになりました。一方で、中途半端に登った坂でも、それがのちに生きていることを後になって知りました。「やり切る」ことは大切ですが、今の自分にその能力がなかった時、道は必ずしも、最後まで登り切る必要はないのだと思ひました。でも、それは、今の自分にできなかっただけであり、未来の自分の可能性を塞ぐものではありません。ましては、途中まで登った坂を、もう一度加速をつけて、1 年後、数年後に登ることはできるのです。そうして私は、最後まで坂を登りきれなかった自分にそう言い聞かせ、今の自分にできる道へ進みました。

私は、人々が生きる希望を持ち続けて生きていくことのできる社会を築いていきたいと思ひています。今回の東京での勤務は、日本の社会問題を見つめ直すという意味でも大変貴重な機会であると思ひています。これからも、自分に嘘をつかず、信じるものを諦めず、どんなに険しい道も歩み続けていきたいと思ひます。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

吉永英未

○おはようさん。なかなか立派な挨拶で良かったよ👏 やればできるじゃん笑笑😊

これからが本番なので頑張れよ

木村より



○ まずは卒業おめでとう🎉

お父様もお慶びのことでしょう。大好き💖だったお母様も…💖

そして、とてもいいところに就職出来てよかったね。おめでとう🎊🎊

仕事も外国人労働者支援のお手伝いとは、貴女の学んで来た知識を思い切り活かせる願ってもない職場なのでは。道半ばに挫折、そんなような表現でした。

道(目標)とは自分を励ます為にもあるわけです。

途中で限界を知り無理せずひとまずリタイアしたからといって自分を責めることはありません。

未英さんはよく分かっています。ホップ、ステップ、そしてジャンプです！

○大石さん 12月17日



暖かいお言葉ありがとうございます。

これからも中国との関わり、そして国籍を問わず人との繋がりを大切にして、心を通わせて参りたいと思います。

大石さん これからもどうぞよろしくお願い致します。

吉永英未

○明日卒業式を迎えます。

こちらは私が参加したプログラムです。

何分か後に私も辿々しい英語で話します。

<https://youtu.be/kyl1U4iAiyI>

時間ございます際にご覧ください。



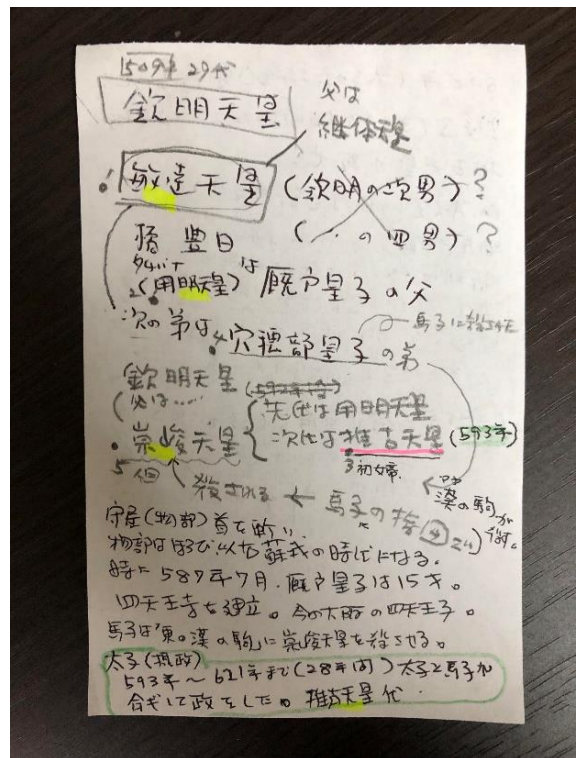
○ 12月19日

それこそ今日やっと『聖徳太子と蘇我入鹿』読了しばらく文藝春秋 12月号をと思っていましたが壬申の乱も年代が近く天皇の血筋も近いので物語としての壬申の乱も面白そうです。

額田王の娘も登場しますし...

ありがとうございました😊日本歴史を行ったり来たり年越しします。

メモをとりながら読んでいます。学年末試験前の心境です。



○ 永吉小学校、アコーディオンを弾く先生にも恵まれ

本当に良い学校ですね

本田さん 良い小学校の卒業とはラッキーですね。

良い先生もそうでない先生も、その思い出はずっと残るものですね

新聞の方ですが、不都合な真実は没にするか隠すか改ざんするか

最近、データの改ざんが行われたが、現状に影響はないとか言っています

配る10万円はキャッシュ&クーポンなのか最善の策を検討すべくいろいろ考えていたら

年の瀬が押し詰まってきた

これはミッドウエイを連想させた
爆弾か魚雷は、あれだこれだと迷っているうちに
敗戦への道に転換するミッドウエイになってしまった。
あってはならない、再発防止は、頻繁に繰り返される。
でもあの時の判断としてはベストであったとうそぶく。

=====西山 和宏=====

南 日

第3種郵便物認可

校歌の風景



43

永吉小学校 (日置市)

作詞・作曲 相馬芳郎

戦なき世の「平和の鳩」

平和の鳩
—
平和の鳩が きょうもまた
なくよ緑の 稲荷山
麓に映ゆる 愛の窓
ああ わが永吉小学校
—
すみて流るる 永吉の
水は心の かがみにて
力を合わせ 建設の
めざす高嶺は あたご山
—
文化のかおり 清らかに
自由のかねを ならしつづ
たがいに重き 責任を
友とわかちて 伸びんかな
友とわかちて 伸びんかな

「戦国の猛将」と呼ばれ、
1600年の関ヶ原の戦いで
敵中突破を果たした島津義
弘。戦国島津家ゆかりの日置
は、妙円寺詣りや流鏑馬、薩
摩焼といった歴史をつむぎ、
〈文化のかおり〉が漂う。義
弘を支えて戦死した豊久の墓
がある天昌寺跡には今も全国
から歴史好きが集まる。
〈緑の 稲荷山〉や愛宕山
に囲まれた旧永吉村は、のど
かな田園風景が広がる。学校
では島津忠良(日新公)の「い
ろは歌」を暗唱し、カルタ取
り大会が伝統となっている。
行動を起こすことの重要性な
ど人生訓を学び(すみて流る
る 永吉の)川に負けぬ清ら
かな心を磨いている。6年の
田重田蓮君は「永吉太鼓踊り
などの伝統もあり、みんな仲
良く元気な学校」と誇る。
〈ああ わが永吉小学校〉
暮らして歌を直結させるこ
とを信念に、音楽教育に力
を入れた。朝の歌、帰りの歌
も作曲し(麓に映ゆる 愛の
窓)からは毎日、700人の
子どもたちの声が響き渡っ
た。
児童が41人に減った現在
も、〈友とわかちて 伸びん
かな〉という精神は受け継が
れている。内西浩子(校長 59)
は「先行き不透明な時代の中
でも、友と協力して夢に向か
い、成長してほしい」と願う。
(永井貴志)

校歌の言葉を刻む創立150
年記念碑
日置市吹上の永吉小学校



【注】150年ほど前、地元
の寺で始まり永吉郷校と称し
た。1901(明治34)年に天
昌尋常小学校と合併、41年に永
吉国民学校に改称。55年の町村
合併で吹上町立永吉小となり80
年に坊野小を統合。2005年
に同町が伊集院、東市来、日吉
町と合併し日置市立校に。創立
150周年式典を昨年開いた。

○  大石さん

校歌の風景 43 および 記者は自決したか「報道報告」の果て 頂き有難うございました。
永吉南郷会前会長の本田哲郎さん 甌島へ一緒に 旅行された方ですか？

お伺いします。

永吉小学校 150年の歴史ある 小学校ですね。700人の学徒が学んだ小学校も今や 41人
寂しいですね。 木場 祥雄



○ 本田哲郎さんは島津家久・豊久親子の歴史考察に詳しく、隈元さんの紹介でだんだん親しくなるうち年齢も同じ
で辿った道こそ違え同じ時代を過ごした方です。

価値観も近いのでぼくたち八期の準仲間として仲間に入れてもらっています。

12月の『八期オンライン通信』では、巻頭文もお願いしました。 大石

○それは よかったですね

期待 大なり！❤️ ===== 西山 和宏



○大石、西山、木場、隈元 様方並びに皆様方へ。

「校歌の風景」で、皆様からやさしいコメントいただき、誠にありがとうございます。

まずは、隈元さんからのご紹介で、大石様方から八期会のオブザーバーとして、仲間に入れていただき、光栄に感じてい
ます。

高校は違っても、八期会の仲間には、大学時代に同じ釜の飯を食んだ同学舎の仲間である下池、堀添氏らもメンバーであ
ることもわかり、一層、近親感を抱いています。

さらに、鶴丸同期の副島（現姓秋山）律子さんとは、皆様が中学時代からのお知り合いであることもわかり、
ホントニ八期会の皆さんと交流できること、今や老生となった自分にとって、素晴らしい「出会い」と想っています。

まずは、この「校歌の風景」の事ですが、新聞社の記者から、いきなりの電話で、「貴方がこの校歌について、
さらに作詞・作曲された先生について詳しいそうだから、取材をさせてほしい」旨の依頼がありました。
なぜ？という問いに、彼は「小生のブログでこの校歌についてのコメントを観た」との回答でした。

帰郷後、諸々の情報入手の手段として不慣れなパソコンを習い、13年前から拙いブログを開設して、毎月3～%回ほど
徒然に書き込んでいます。 確か10年ほど前に、校歌について、鶴丸高と永吉小の校歌はすばらしいと書いた記憶がありま
す。

その事を記者は「検索」したのでしょう。

先週、小学校に担当記者が来られて、小生もそこへ赴き、取材を受けて、その後、天昌寺跡もご案内しました。

この校歌は、珍しく「副題」が付けられており、それも「平和の鳩」であります。

小生が5年次のとき相馬先生が赴任され、この校歌ができたわけです。

それまで、「音楽なんて、おなごケッサレがするもんだ！！」というほどの「ガキ大将」でしたが、相馬先生の授業を受けてか
ら、途端に好きになり、6年次には合唱団に入り、当時のNHK 鹿児島放送局まで行き、狭い放送局の部屋で緊張しながら録
音した事を覚えています。

以後、クラシックが好きになり、高校時代から「労音」に入り生の演奏をたのしみ、仕事現役の頃も、忙しい中すきな演奏家
を選んでコンサートに息子も巻き込み、アチコチ行っていました。

帰郷後は、鹿児島国際大学での生涯学習講座で、「西洋音楽史」から「オペラの鑑賞」講座に入り、今も17年間、継続してオペラを、

すばらしい松原武美先生に出会い、キチガイ仲間と受講しています。

この校歌の歌詞は、見事に戦後復興の気概と将来への期待に満ちたフレーズが多くあり、ほかには見られないほどの素晴らしいと

自慢したいほどです。

「平和」「建設」「文化のかおり」「自由の鐘」「責任」など、およそ小学校の歌には異質とも言える「ことば」が使われておりません。

以上、くどくど、今回の経緯を述べさせていただきました。

11月初めに皆さんと甑島マイカー旅行を楽しんだこと、ホント嬉しく思っています。

今後とも、何卒よろしく願い申し上げます。

2021.12.17, 本田 哲郎



○本田さん 八期の皆さん

本田さんとは、私が島津家の歴史を調べて、アチラコチラをさるく中で知り合い、今日に至っています。

その後のことは、ここに本田さんが書いておられる通りですが、初対面のときに共通の友人や知人がたくさんいることがわかり、更に親近感を持ってお付き合いが続いています。

地域でも「永吉南郷会」という会の会長を長年務められ、島津豊久(島津四兄弟の末弟・家久の息子)を中心とした永吉島津家の「天昌寺跡墓地」、島津家久の墓所の「梅天寺跡墓地」を守るボランティアの中心人物です。

2016年の元旦の記事を拙ブログに書いていましたので紹介します。本田さんのことも書いてあります。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201601040000/> />

隈元達雄



○12月17日

みなさま おはようございます。

今後も元気で よろしく願いいたします。

=====



西山 和宏

○「お父さんが死ぬのが戦争なんだ」

「上級生の役目」で弔い行列に参加。白い布に包まれた遺骨を抱いた女性の後ろには幼い子どもたち。万歳が飛び交った出征時とは違う。「お父さんが死ぬのが戦争なんだ」(証言 語り継ぐ戦争)

■井上悦子さん(93)阿久根市脇本

1945(昭和20)年8月15日、阿久根市内の家を訪れた知人に、「戦争が終わった」と告げられた。何で日本が負けるのー。16歳だった私は現実を受け入れられず、夕方まで泣き続けた。

母はあり合わせの具材でだご汁を作りながら聞いていた。「天皇さまはどげんなつと」。まきを持ったまま尋ねる姿を今も鮮明に覚えている。

知人の言葉が信じられなかったのは、受けてきた教育の影響だ。小学校から国の



ために尽くせと教わり、教室には占領地域を色で塗った地図が誇らしげに掲げられていた。

「日本は強くて偉い国」。心からそう信じていた。

40年、阿久根尋常高等小学校6年生の時、担任から阿久根駅に向かうよう指示された。戻ってきた戦死者の遺骨を受け取った家族や親戚らと共に、自宅に帰る行列に参加するのだ。一行に加わって申うのが、上級生の役目だった。

白い布に包まれた遺骨を抱いた女性。後ろには幼い子どもたちが続いた。誰も話す人はいない。万歳が飛び交う出征時とは一転、静寂に包まれていた。

その日の帰宅後、「一人も泣いてなかったよ」と家族に話すと母は言った。「晩に泣きやっとよ」。子どもながらに「お父さんが死ぬのが戦争なんだ」と感じた。

進学した阿久根高等女学校では、3年生の頃から戦局の悪化を肌で感じるようになった。消火訓練、塩たき、防空壕(ごう)の穴掘り…。慣れない力仕事が続いた。

成績表は4年生の3学期だけ空欄。学徒動員として福岡の飛行機製作所で働いたからだ。

45年春、同校の教員養成科に入った。阿久根の市街地が空襲に見舞われた8月12日は、校内で草取りの最中だった。空いっぱい米軍機が飛んでくるのが見えた。

防空壕に逃げ込もうとしたが間に合わず、渡り廊下に避難した。泣き叫ぶ下級生に覆いかぶさり、伏せ続けた。周囲に機銃掃射の音が響いた。下級生を励ましつつ「撃たれるかもしれない」と死を覚悟した。

空を見上げると、機体がすぐ近くまで迫っていた。操縦席のパイロットの姿が目飛び込んできた。歯が見えた。笑っているようだった。

3日後、終戦を迎えた。何を信じればいいのか、気持ちの整理がつくまで時間がかかった。

はっきりと分かったのは、戦争は人も自然も文化も全て無にすること。戦争だけは絶対してはいけないと胸に刻んだ。

母は89年、88歳で亡くなった。それ以降、8月15日は毎年、だご汁を作って食べている。平和の尊さとあの時代の苦しさを忘れないように。

===== 西山 和宏 =====

○



私も南日本新聞の「証言 語り継ぐ戦争」のシリーズは全部とは言いませんが読んでいます。もう360回なんですね。

今朝のこの記事は私達よりほぼ一回り上の93歳(当時16歳)の方が書いておられ、しっかりした記憶のもとで証言されていますね。

私は5歳ということでおぼろげな記憶しかありませんが、それでもこの方と似たような経験をしています。

もう何回も書いていますが、終戦当時は上東郷村(薩摩川内市)に疎開していて、ラジオを持っていた叔母の家に当時現地に駐在していた兵隊さんたちも集まってきて天皇陛下の玉音放送を聞きました。

もちろんその時は何のことかわかりません。夜、母と姉が蚊帳の近くで泣いていたのを見たりして、なんとか理解したというようなことでした。そしてそれが玉音放送だったということ知ったのはもっと大きくなってからのことです。

井上悦子さんが書いておられるように「晩に泣きやっとよ」だったのでしょう。

終戦間近にはあの田舎の村にまで飛行機が飛んできました。蝸壺と言っていた一人用の防空壕に入る余裕もなく、防空頭巾を被って畳に伏せていると、家の前の畑の向こう側20m くらいのところにある竹やぶを掠めるように飛んでいました。

その時、空襲を受けた街の方から、私達の住む田舎に向かってたくさんの人たちがリヤカーを引いたり押したりしながら坂を上ってきました。それが珍しくて近所の子供立ちと見に行ったものです。

終戦の翌年21年4月東郷小学校に入学。3年の時に父の戦死の公報がきました。まさに「お父さんが死ぬのが戦争なんだ」そのものでした。実感です。

隈元達雄



○ 何言ってるのかと思ったら

貴方からでした！

何でこんなに気を遣うのですか？ いつも御世話になっているのは私なのですから

本当にびっくりです 🍗 美味しそうな、京都のお漬物いろいろありがとー💕

ございます 🍗 お正月に頂戴致しますね。ラインの事で並々ならぬ御世話になり

私こそ何かとか思ったりもしましたが、こんな田舎で今は珍しい物も無いので

また目新しい物でもありましたら気楽に送りますので

笑納くださいね (*^^*)

新年まで 10 日余になりました。益々お身体にはお氣をつけてより良い新年を お迎えください m(_ _)m



○ 八期 LINE 賑やかだね 🍷

まさに同窓会のおしゃべりです♪

年末に入ってよかったです♪

送りものは気にしないでいいです。

LINE のペーパー復習して新しい加入希望者(アメリカでもベトナムでも可能です)に教えてあげてください。

LINE はインターナショナルです。🇺🇸



○ アメリカ 🗽 の 美智子さんすっかり外人なのよ！

何聞いても ありがとうと しか言って来ないから

有難う では解らないのよと 打ったら パソコンに座るから

パソコンでなかったら 日本語が出ない見たいになっているのよ！

ある人 は漢字なのに

だからかえって迷惑だと連絡しない 荷物 📦 もコロナからややこしくなり送れ無いのよ 高い方で送ると

5 日で着いて国内とたいして変わらないわ と思っていたのね m(_ _)m

○

○大石くんいつもありがとう。



「異国人一条アリ」

島津久光のメモ初公開 あすから黎明館

幕末の生麦事件直後、現場にいた島津久光が事件の発生をメモした旅程表を、所蔵する黎明館（鹿児島市）が確認した。その後の予定変更も書き込んであり、当時の緊迫を示す資料。21日からの企画展「玉里島津家資料展」で初公開する。

生麦事件は1862（文久2）年8月21日、生麦村（今の横浜市鶴見区）で発生。久光の行列と騎馬のまますれ違おうとした英国人を、藩士が殺傷した。書き込みは、家臣が休憩や宿泊場

生麦事件 緊迫伝える

所、移動距離の予定を書いて久光へ毎日渡していた書き付けにあった。

この日は帰国のため高輪の屋敷を出て品川、大森、川崎、生麦、神奈川で休憩し、程ヶ谷（保土ヶ谷）宿泊の予定だった。だが一行は神奈川を素通りして程ヶ谷に直行。書き付けの「生麦」右上には「異国人一条アリ（異国人の一件あり）」と記され、「神奈川」は朱線で消してある。

崎山健文学芸専門員は「旅程表は事件当時、久光と共にこの中であつたと思われる。現場の生々しさ、報復を警戒して先を急ぐ様子が伝わる」と話した。書き付けは、6年前に館へ寄贈された玉里島津家資料の一つ。久光らの私物に含まれており、内容は公開に備えた調査で分かった。企画展は3月6日まで。初公開の資料を中心に約70点を展示する。（野村真子）

島津久光が「異国人一条アリ」と書き込んだ旅程表。休憩予定だった「神奈川」は朱線で消されている
鹿児島市の黎明館

今朝の「生麦事件」の黎明館企画展は危うく見落とすところでした。

生麦事件については「東京八期会」の皆さんが西山さんを中心に横浜の「生麦事件参考館」を訪ねた報告がきていましたが、それに刺激された私も鹿児島に参考館の館長・浅海武夫氏が見えて講演会があると知り、聞きに行きました。その時のことをブログに書いていました。2012年12月に書いていますから、もう9年まえのことですね。速いものです。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201212130000/> />

生麦事件は、薩英戦争の原因となり、その時の英国の船舶や大砲などを見た薩摩藩がその文明に驚いたことが、後の明治維新につながると言われるくらい日本の歴史の中で重大な事件だったと思います。

その生麦事件に関して島津久光が取った行動の史料が新たに発見されたということに大きな関心を持ちます。近々、企画展に行きませんか。

もう一つの「健昌城」の記事も興味深いですね。

建昌城は九州高速道路の上り線にある「桜島 SA」の奥の山辺りと聞いていて、一回行ってみたいとは思っていましたが、今日の記事で曲輪など名残があると知り、更に興味が湧いてきます。

その名残と言っても城郭の用語はわかりにくいですが、「曲輪」（くるわ）は簡単にいえば、その周囲と区別するために出来た囲いのことで、つまりは城や砦の周りに築いた石垣などのことです。

「空堀」（からぼり）は水のない堀、「土塁」は土を盛り上げて築いた砦のことです。WEB 検索で「城郭用語一覧」で他の用語も出てくると思います。 隈元達雄



○貴重な資料が出てきたもので
ね！

10年ひと昔と言いますが、
ときの経つのは早いものです

右の写真、片側一車線程度の幅の東海道
殿さまの駕籠があって、両脇を供侍が固
めた
其の脇を乗馬のまま通り過ぎようとして
斬られた

検視報告書によると、馬を寄せて真正面
から斬られた。



○12月22日

西山 和弘 様、皆様へ。

返信が遅れてすみません。メールありがとうございます。
自分が「音楽」が好きになったキッカケが、この「校歌」を作り、
「朝の歌」「帰りの歌」を皆で歌ったことで、「おなごケッサレ」と揶揄していた輩が、
その後、「クラシック、opera キチガイ」になってしまいました。
帰郷後、親が鹿児島出身ヴァイオリニスト、川島成道君の後援会を提唱し、今も地元で自主公演やレストランコンサートをや
り、オペラは鹿児島国際大学の生涯学習講座を今も17年間、キチガイの仲間たちと、松原武実先生の指導を受けています。
これは歌うのではなく、専ら「鑑賞」(DVDによる世界中のオペラを観る)だけです。

2021, 12, 23, 本田 哲郎。



音楽を趣味とは素晴らしいことです

毎週、題名のない音楽会を楽しみに観ています。

=====

西山 和宏



○



○ 12月24日

今日はクリスマス、孫も傍にいないのでケーキは忘れました。森くんが LINE に手作りのローストチキンを載せていたので山形屋で買って帰りました。ポルドーワインによく合いました。

今日、天文館に出掛けたついでに黎明館で開催中の『玉里島津家資料展』覗いて来ました。

見学者はぼつりぼつりでした。カメラに撮りたい資料が結構あったのですが、撮影禁止の張り紙があったので遠慮しました。

説明の下に 畑 尚子 『島津家の内顧と大奥』同成社とあったので、メモしたく案内？受付嬢にペンを貸して(こんな時によく忘れます)と言ったついでに、「本当はスマホで撮りたいのだけど…」とつぶやいたら、「撮っていいですよ」とのことでした。

慌てて何枚か撮りました。特に、茂姫と斉宜の秘密のトンネル…や薩英戦争の時の鹿児島城の慌て方…於由良が亡くなった時の様子…など撮りましたので送ります。

帰ってネットで調べ 畑 尚子の『幕末の大奥 天璋院と薩摩藩』新品の古書(岩波新書)1冊 送料400円。アマゾン他に300円(新品)送料260円位のを買おうかな？と迷っています。多分買うでしょう。

西山さんに贈られた『日本史の反逆者 私説・壬申の乱』井沢元彦一冊もなく読了ですので。 本当に、日本史の彷徨い人になりそうです。古墳時代から江戸末期へ。来年もきっと白内障手術でもする迄は文庫本が手放せないことでしょう。

映した資料は添付して送ります。届かなかった人には PDF に変換して送ります。





○ 添付ファイルのようにして、興味深く見ました。

小学校か中学校の頃

薩英戦争のときの避難に際し、お城などのふすまなどの建具も

他に移して難を逃れたと聞いたことがあります

その後そのような話をきいたことがありません。=====西山 和宏



○ 大石です。

隈元くんの『かんまち市電エレジー』が良かったので、ブログからワードへそして PDF へ変換して、LINE 視聴者にも見てもらえるように(余計な)一仕事しました。出来立てほやほやです。

添付した資料はスマホから画像化してパソコンに転送しましたので PDF 化出来ませんでした。



○ 大石様

いつものことながら、興味ある情報ありがとうございました。

今後ともよろしく。

よいお年を！ 崎元雄厚



○ 大石くん

貴重な史料ありがとう。どの史料も知らないことが多く興味深いです。

私も年が明けたらゆっくり行ってみようと思います。

皆さん、楽しいクリスマスをお過ごしされたようですね。我が家は次男も入れて3人家族ですがローストチキンとスープにサラダ、手軽にショートケーキでした。

話題変わって、ブログに2012年に書いたエッセイ「鹿児島市電 上町線の思い出」をアップしました。皆さんもそれぞれ思い出があるでしょうから、お聞かせください。

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>

隈元達雄



○ 2021年12月25日(土) 23:53 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

今日はクリスマス、孫も傍にいないのでケーキは忘れました。森くんがLINEに手作りのローストチキンを載せていたので山形屋で買って帰りました。ボルドーワインによく合いました。



○ 12月26日

空襲のため終戦後間もなく上町線は走っていませんでした。写真にある場所、

鉄橋は破壊されず、枕木も残っていたので、大龍小低学年の頃、

学校帰りにときどきその上を歩きました。下を見ると少し怖い感じで、ちょっとした冒険でした。

薩摩義士前の急坂、スピードオーバーで、電車が濠に落ちました。けが人が出たかどうかは知りません。

線路に5寸釘を置いて、平らにさせました。

ボギー電車の登場はカッコよかった。

夏になると電飾の花電車が美しかった。いまもやれば観光客誘致に役立つでしょう。

=====

西山 和宏



「届かなかった人には PDF に変換して送ります。」

をよろしく願いいたします。

私も、今まであまり関心がなかった古代史が面白くなりました。

=====

西山 和宏

○『幕末の大奥 天璋院と薩摩藩』

早速、注文しました。=====西山 和宏



○限元さん

あなたのブログ 鹿児島市電上町線の思い出 なつかしい場所 見せてもらいました。

また、娘さんの案内で指宿温泉旅行 よい思い出となったことでしょう。私は 息子だけ 二人 娘さんのおられるところは なにかと気配りしてもらえ、よろしいですね。JR 最南端 西大山駅 薩摩富士 雲がかかって 残念でした。

12月分のブログ 6本 見てしまいました。ありがとうございました。八期会の友達との薩摩川内市の甕島2泊3日の旅行記も また 見てしまいました。

木場 祥雄



○大石さん

玉里島津家資料展 の資料 撮影分 メールしていただき有難うございます。

チャンスあれば 資料展 見たいと思います。

ありがとうございます。

コロナ 少し下火になり 控えていた旅行、外食そろそろかな?・・・と思っていた矢先のオミクロン 拡大傾向

しばらくは 一人旅 会食も控えて?の 旅行かな・・・と思っています。 木場 祥雄



○大石さん西山さん

遅くから こんばんはの中の 西山さんに贈られた「日本史の反逆者 私説・壬申の乱」井沢元彦一まもなく読了・・・とあります。 気になりました。

西山さん 本当に いろいろと 勉強されておられるようですね。

壬申の乱 については 古代最大の争乱・壬申の乱の謎・・・といろいろなことが書かれております。

乙巳の変、大化の改新という輝かしい功績を残しながら、古代史の英雄というイメージが強いが、「作られた偶像」だったのではないかと・・・という説を唱える人がおられます。

中大兄皇子(天智天皇)は謎に満ちている人物である。このあたりをご存じで 大石さんへ書物を進められたのではないかと思います。古代史には 謎が多いという説は それはひとえに、「日本書紀」の記述に矛盾があふれているからという説を唱える人が多い。「大化の改新」についても、分からないことが多いという。

上記「日本史の反逆者 私説・壬申の乱」で 中大兄皇子(天智天皇)がどのように描かれているか興味あります。

以上 木場祥雄



○ 大石さん

古墳時代から江戸末期へ 興味を持たれておられるようですが ものすごい期間ですね。
さて、クリスマスの際にメールしたらよかったですのですが…？

720年に完成した日本書紀によって、聖徳太子がして登場するのは厩戸皇子(うまやどのおうじ)と呼ばれている。
用明天皇と穴穂部間人皇女(あなほべのはしひとのひめみこ)に生まれた皇子のことである。

その名の由来は、厩の前で生まれたからとされている。皇子を生む前に夢の中で救世観音が誕生のお告げを残している。

などの逸話あり、この逸話はイエス・キリストの母マリアの受胎告知と、キリストが馬子屋で生まれたエピソードと酷似している。

これは、「日本書紀」編纂当時、中国に伝来していたネトリウス派キリスト教の内容が日本に伝わり、皇子誕生説に影響を与えたからという説がある。

ほかにも太子伝説のひとつに、キリスト復活によく似た話もあり、イエス・キリストには共通項が多い。聖徳太子の超人伝説には、キリストの逸話を元にしたのかもしれないのである。

という説の本を読みました。参考まで

木場 祥雄



○ 木場さん！流石、鋭い指摘です。

天智天皇(中大兄皇子)に対するイメージ(何となく自分なりに抱いていた)がかなり変わりました。
歴史家が描いていた中大兄皇子像の別な視点を送られた私説・壬申の乱から知ることが出来ました。

もっともあの日本最初の歴史本『日本書紀』が藤原不比等が一族に都合のいいように史実を歪めて書いたと言うことが常識化されようとしています。ぼくも古代史(古墳時代)に興味を持ったのが蘇我氏と隼人の乱です。実は中大兄皇子は好意を持って見ていました。「なぜ天皇にならないのだろう」いろいろな場面での弟(大海人皇子)との確執…

贈られた本が私説本なので勿論書かれた通りではありませんが、木場さんの指摘通り西山さんはぼくに「こんな本(見方)もあるよ」と送ってくれたのでしよう。

まんまとその気になっていますよ。

次に読む文庫本は『額田王』井上靖…にと決めました。



○ 早速に ご返事頂き有難うございます。

私も あまり くわしく勉強もしておりません。

西山さんは いろいろな面で 博識 すごいです。

西山さんの ご指導 指示を受けながら 読書することで一層 興味を 持つことができるような感じします。

では また

木場 祥雄

 12月26日

ありがとうございます。

面倒をかけました。思いもしないことでした。

私も、逆に印刷させてもらいます。

来年は、ワードも書けるようになったので、新しい史料も出てきた「森家」の歴史など書ければいいなと思っています。

今日はコーラスの練習の今年の最終日でした。

市内に会場がなく、伊集院まで後輩の車に乗せてもらって行ってきました。 隈元達雄

編集者注:

このメールの前には大石・森・隈元の間である八期仲間(懐かしい)のことで、隈元くんの『鹿児島市電かんまち線の思い出ブログ(楽天)』の内容でいろいろやり取りがありましたがかットしました。



年末のご挨拶!!

○今日はもう29日です。すごい寒波が日本列島を襲い(かごしまは何ともなかった。桜島が白くなっていない)テレビではオミクロン株の話題ばかりでした。

クリスマスを最後に八期メールもみなさんそれぞれ何かと忙しいのではないのでしょうか? パソコンの前に座れないほど何か用事があるということは素晴らしいことです。

…ということで、今年のオンライン通信は今日で終りにしたいと思います。

スタートは歴史通信で始まったこの『八期オンライン通信』ですがなかなか集まりが出来ないまま3年目を迎える鹿児島の八期会もLINEトーク交換やこのメールなどのおかげで全国繋がっているのはふしぎな気がします。

気になっていた会長の浜崎クン、幹事の南郷クン、そして近々には関東のまとめ役・堀田女史(…と陰では言っているようですーもちろん、敬意を込めてです)もLINE登場! そのうち、顔を出しての『オンライン会合』も夢ではありません。

もし、オミクロン騒ぎが収まってきたら歩ける人だけでももう1、2回は一堂に集まって(10名ないでもいいので)ライブ宴会をどこかの温泉でやりたいものです。

個人的には、昨年からはじめた親しい(疎遠でない人という意味)人とは年賀状はオンラインを実行したいと思います。

慌てて返事を…なんてこともないようにしましょう。(とはいっても…という気もまだしますけど)

ですから、正月3日以降に、また、ぼくからオンライン年賀状が届くかもしれません。

この『オンライン八期会』がまだまだ続きますよう祈念して一人編集部からのご挨拶にしたいと思います。

来年も**また**今年と変わらず宛先登録が続きますよう『いい新年をお迎えください!!』 大石けいじ

最後に、オンライン通信に積極的に投稿を寄せてくれた西山・木場・隈元・森くん他仲間のみなさんありがとうございました。

八期 LINE 紹介します。

堀田さん、お久しぶりです。と、感慨に耽...

堀田昌子

何ですぐ出ていくのよ
大竜小1~2 を争う暴れんぼ
うが 良いじい様になって泣
けてくる
自分の身体も気をつけてみ
なみプロに心配かけないよ
うにね!
テゲテゲにしないでよ
昌子ちゃんでした

昌子さん元気そうでなによ
り、色々気にかけていました
が連絡不十分でごめんなさ
い、これからよろしく。

みなみちゃんゴルフ シイ
ズンが終わっても忙しいそう
です 来年も元気プレイが
見られるのを楽しみにしてま
す。

龍作 ジンさん も堀田

19:41
堀田昌子がグループに参加しました。

堀田昌子

皆様初めまして?
堀田昌子です 皆さまがライ
ンをやってらっしゃるのは知
ってましたが、時代遅れの私
は今までジーンと見てまし
た! これから
ボツ ぼつ皆様に近づきます
ので お手柔らかに ヨロ
シクお願い申し上げます m(_
_)m

昌子ちゃん
八期会に、ようこそ
いらっしゃいました!! 貴女
の入会すること待っていまし
た^o^
女性の会員が、少ないので昌
子ちゃんヨロシク 男性に?
負けないように 意見を言っ
てください
頑張りましょう♪
和枝



どういうわけか東川君が裸足
なのが気になります。

堀田昌子
藤崎くん 貴方に嬉しい何て言わ
れたら中学生の時 福岡に

前列 右から4番目 河野佑
子ちゃんでは
後列 男の先生の前
平山幸子さん その右
末富 節さんでは? その前
は宮本量幸さん

全部私の見た感じです
本人に見せると解るでしょ
うがね! 裸足なんか 長田の
卒業アルバムも はだしの方
いて
関係無い方にビックリ
された事がありました
m()m

堀田さん、お久しぶりです。
と、感慨に耽っている間に、
数日過ぎてしまいました。ゴ
メンナサイ。貴女の入会と同
時に、このLINEが賑やかに、
華やかになりました。これ
からが楽しみです。大竜小卒
業の皆さんが、俄然賑やか
になりました。大平君、末富
さん、小吹さんは、すぐわか
ったのに、堀田さんは、どこ
。一生懸命探したのに、ぎ
っと、おすまし顔のこの子だ
と思うけど、まあ、ゆっくり探
しましょう。今夜は、このく
らいで、おやすみなさい。で
は、又。

浜崎会長さん
ありがとうございます
森くんが写真を出した
その下から読み直してくださ
いね! 私の写って無い理由
永野さんの嘆きが解りますよ
私も和枝ちゃんと同じ
5組なのです でも私は個人
的理由ですから

このメッセージはありません。

前列左から2番目
東川くん 今と全然変わらな
いでしょう!
佑子ちゃん 皆さま 見た顔
ですけどね(^-^)

東川くん今と全~然違うよ、
頭のところが。

堀田昌子
前列左から2番目 東川くん 今
と全然変わらないでしょう...

森さん超可愛い♡ね
ところで! あの時どんな歌
課題曲 だつたの



八期2組の第1回同窓会

同窓会ではなくて卒業記念パ
ーティーでした。場所は易居
町にあった料亭「一楽」坂元
郷太君の実家です。

ホーホー、こげな写真があっ
たよいじゃ。野田先生の芸者
通い入門授業な。坊主頭と思
ったら皆さん髪フサフサじゃ
らお。ポマードともおった
い。打ったくったいたなら
我ががやらるって先生も黙認
じゃった一ろ。永久保存す
ってな。

